

国際規格ISOに準拠した試験でテスト済みの協働ロボット
低コスト協働ロボットReBeL、日本市場で本格販売開始

イグス株式会社（東京都墨田区）は、クラス最軽量の低コスト協働ロボット「ReBeL（リベル）」の日本市場での本格販売を開始します。

ReBeL は、軽量で無潤滑の低コスト協働ロボットとしてドイツで開発され、2021 年の発売以来、欧州、北米市場を中心に年々販売実績を伸ばしています。

日本市場においては、本年より販売を開始しており、中小製造業を中心とするロボット需要の高まりを受け、様々な業界からの問い合わせや引き合いが増加していました。イグスではこのようなニーズに応えるため、ロボット製品の国内販売部門の体制を強化するとともに、日本市場向けに対応した ReBeL の拡販を開始します。

ReBeL の日本市場対応について

ReBeL は、人間とロボットの協働作業に適したアーム型ロボットで、イグスが独自開発した高機能ポリマーで製造されているため、本体重量が約 8.2 キロと軽量であることが特徴です。内蔵型コントローラやティーチングソフトウェア（iRC）をセットにして 100 万円台（可搬重量 2 kg、最大リーチ 600m 以上クラスの協働ロボットとして最もリーズナブルな価格帯）で提供しています。

このように、軽さや価格帯において競争力のある ReBeL ですが、従来はソフトウェアの操作画面がグローバル仕様のため英語版のみとなっていました。今回日本市場での販売強化にあたり、日本語表示に対応しました。

また、ReBeL はこの度、品質・安全性に対する要求が高い日本市場に対応するために、国際的な第三者認証機関による ISO TS15066 2017:4 に準拠した試験で、協働ロボットとしての適合性を確認しました。

ロボット製品の販売強化について

イグスでは、既存の設備やリソースをベースにしてシンプルかつ低コストな自動化で生産性の向上を図ること、そしてロボットをはじめとしたその製品群を「ローコストオートメーション（以降 LCA）」と表現しています。

この LCA を日本市場においても訴求するために、本年 1 月に東京本社内に LCA センターを開設し、自動化を検討している企業に対して、ロボットが実際に動作する様子を体感できる場を提供しています。

今回販売を強化する ReBeL は、この LCA 製品群の中でも今後日本市場で最も注力する製品に位置付けています。すでに、軽さや価格において様々な業界から注目されており、旺盛なニーズに対応するため ReBeL 拡販のための専門チームを立ち上げました。

2023 年 11 月時点で、製造現場以外にも、研究開発や製品の試験現場等での導入事例が増えており、今後は、大学・学校等の教育分野や、飲食業等サービス分野での幅広い用途の活用・採用も見込んでいます。

なお、イグスは ReBeL の販売を強化するとともに、来年度 LCA 事業における 3 倍の増員を視野に、日本事業全体での売上拡大を目指します。

ReBeL の主な特長

- ReBeL は高機能ポリマー製のアーム型ロボットで、重さはわずか 8.2kg（ロボットに内蔵したコントローラ含む）とクラス最軽量のロボットです。プラスチック製で軽量のため、従来の金属製ロボットでは困難な壁付け、天吊りも可能です。また、省スペースで設置できるためコンパクトな設計が可能となります。
- コントローラ内蔵で 100 万円から導入できる、同クラスで最もリーズナブルな価格帯のロボットです。中小製造業のロボット導入のネックとなっているインシャルコストの短期償却が可能です。
- 可搬重量（6軸の場合）は最大2kgで、自由度4または6、および制御システム付きまたは無しを選択できます。組立作業、品質検査、サービスエリアでの作業等様々な用途の利用が可能です。
- ロボットに動作を教示する方法もシンプルにしています。無料公開しているティーチングソフトウェア iRC上にロボットを3D表示し、ノーコードかつ「ドラッグ&ドロップ」に近い感覚で動作が組み込めます。同ソフトで、導入前の動作シミュレーションも可能です。
今回このロボットコントローラを日本語に対応させており、より簡単な操作で利用することが可能です。また、ReBeLはROS（ロボット開発用オープン型ソフトウェアプラットフォーム）に対応しているため、他のアプリケーションに適合させることも可能です。ROSでシステム全体を構築したいシステム開発現場の課題解決にも貢献します。

<概要>

製品名	REBEL-6DOF-01
希望小売価格	1,197,273円（税込）

機能特長

- プラスチックで構成されるため 8.2 kgと軽量。
壁付け、天吊りが可能。
- コントローラ内蔵で省スペース
- プラグ&プレイですぐに稼働可能
- 最大 2kg の可搬重量
- 最大 664mm の可動範囲
- 最大 6 自由度
- 最大速度 0.2 m/s
- 繰り返し精度: ±1mm
- 無料、ライセンスフリーのロボット制御ソフトウェア（iRC）を使用可能



プレスリリース

2023年11月30日

-イグスについて-

イグス(本社ドイツ)は、様々な産業機械や製品の可動部分に使われるエンジニアリングプラスチック製品の開発・製造・販売を行うグローバル企業です。プラスチックを開発・成形する確かな技術で、Tech up, Cost down®(↑寿命を延ばしてコストを下げる↓)を目標に、世界中のお客様にイノベーションと安全性を届けています。

当社は 1946 の創業以来、無潤滑高機能プラスチックを使用したケーブル保護管、可動ケーブル、樹脂ベアリングにおいて世界のマーケットをリードしており、近年はローコストオートメーションロボット、3D プリント製品、インダストリー4.0 向けの予知保全システム・スマートプラスチックなど、様々な製品を開発し事業ポートフォリオを拡大しています。

現在、世界 80 以上の国と地域の企業が製品・サービスを採用しており、2022 年の売上高は 9 億 6,100 万ユーロ(約 1500 億円)に達しました。また、環境投資施策として、ドイツでは使用済みプラスチックのリサイクルプログラムや、プラスチックごみをオイルに還元するプロジェクトのサポートについても積極的に推進しています。

-イグス株式会社について-

イグス株式会社(本社東京墨田区)は 1990 年に日本支社として設立され、30 年以上の国内販売実績があります。現在、従業員数は 150 人を超え、東京の錦糸町に本社、栃木に在庫&アセンブリー拠点を構え、全国各地で営業活動を展開しています。

以上

イグス株式会社

〒130-0013 東京都墨田区錦糸 1-2-1 アルカセントラル 15 階

Tel: 03 (5819) 2030 (代表)

<https://www.igus.co.jp>

<製品についてのお問い合わせ>

Tel: 03 (5819) 2500

Fax: 03 (5819) 2055

E-mail: helpdesk@igus.co.jp

<プレスリリース・取材のお問い合わせ/担当:峯山>

Tel: 080 4598 5043

Fax: 03 (5819) 2055

E-mail: mmineyama@igus.net

"igus", "Apiro", "chainflex", "CFRIP", "conprotect", "CTD", "drylin", "dry-tech", "dryspin", "easy chain", "e-chain", "e-chain systems", "e-ketten", "e-kettensysteme", "e-skin", "e-spool", "flizz", "ibow", "igear", "iglidur", "igubal", "igutex", "kineKIT", "manus", "motion plastics", "pikchain", "readychain", "readycable", "ReBeL", "speedigus", "triflex", "robolink", "xirodur", and "xiros"は、igus GmbHの登録商標です。"dry-tech", "ジッパー", "isense", "smart cable chainflex", "e-skin", "xiros", "e-loop", "CFCLEAN"は、イグス株式会社の登録商標です。"Recycle" 及び "igus:bike"はigus GmbHの商標です。"e-chain"はイグス株式会社の商標です。